



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月25日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7739 URL https://www.canon-elec.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)酒巻 久  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	60,118	10.5	3,745	△0.3	4,256	9.4	3,286	15.6
2020年12月期第3四半期	54,394	△19.3	3,757	△42.9	3,890	△39.1	2,843	△42.1

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,128百万円(19.3%) 2020年12月期第3四半期 2,623百万円(△46.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	80.44	—
2020年12月期第3四半期	69.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	122,893	100,134	79.1
2020年12月期	117,211	97,629	81.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 97,222百万円 2020年12月期 95,549百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 なお、2021年12月期の1株当たり期末配当金については未定です。

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,160	19.5	7,975	42.3	8,075	38.5	6,600	49.6	161.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	42,206,540株	2020年12月期	42,206,540株
2021年12月期3Q	1,345,565株	2020年12月期	1,356,448株
2021年12月期3Q	40,856,592株	2020年12月期3Q	40,843,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

2021年12月期の1株当たり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えたうえで公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況	2
(3) 財政状態に関する分析	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2021年第3四半期の世界経済・日本経済は、前年より新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響が続いておりますが、先進国を中心にワクチンの接種が進み、経済も徐々に回復しております。一方、半導体をはじめとする材料の供給が引き続き世界的にひっ迫しており、先行きは不透明で予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中、当社グループはカメラ用部品など需要が回復した製品の増産対応を進めたほか、スキャナー関係では欧米を中心に積極的な拡販活動を展開しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は601億18百万円（前年同期比10.5%増）、連結経常利益は42億56百万円（前年同期比9.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億86百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

なお、宇宙関連分野におきましては、2020年10月29日に打ち上げた当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-II B（シーイー・サット・ツービー）」と、打上げから4年が経過した「CE-SAT-I（シーイー・サット・ワン）」の実証実験を順調に進めており、地上の高精細画像を日々撮影しております。現在、撮影した画像の販売を始め、今後は衛星本体や内製コンポーネントの受注も順次開始してまいります。

### (2) 事業の種類別セグメントの状況

コンポーネントセグメントにおきましては、デジタルカメラ関係は、スマートフォンのカメラ機能の充実により厳しい状況が続いていますが、当四半期はミラーレスカメラの売上が好調に推移しています。これにより当社が製造しているシャッターユニット・絞りユニット等のカメラ部品の生産数が大幅に回復し、売上が増加しました。レーザープリンター・複合機向けのレーザースキャナーユニットは、テレワーク等の生活スタイルの変化により個人向けを中心に受注が回復しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大や材料供給のひっ迫により、売上は減少しました。なお、ベトナム子会社において生産を行っているプリンター部品は、ベトナム国内での新型コロナウイルス感染症の再流行により生産が当初の予定を下回り、売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は323億58百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は40億77百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

電子情報機器セグメントにおきましては、スキャナー製品関係では、中国における国内生産品の優遇傾向が強まり販売が落ち込んだものの、欧州やインドでは増加し、全体の売上は増加しました。ハンディターミナル関係では、前年に発売した新製品「BP-F400」をはじめとするモバイルプリンターの販売が前年を上回りましたが、ハンディターミナル本体やモバイル決済端末の販売が前年を下回り、売上は減少しました。レーザープリンター関係では、レーザープリンター本体やオプション等の生産を推し進め、売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は199億58百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は25億81百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

その他のセグメントにおきましては、情報関連事業は、情報セキュリティ対策ソフト「SML」においてテレワーク向け分析パッケージの開発、提案を進めたほか、学校向け教務管理システム「SCHOOL AID（スクールエイド）」、顧客情報管理システム（CRM）等の受注活動を積極的に展開しましたが、各企業のシステムへの投資が縮小や延期となっており、売上は減少しました。環境機器事業は、小型電動射出成形機、歯科用ミリングマシン「MD-500」の販売が前年を上回ったほか、工場向け生産装置の販売により売上は増加しました。医療関連機器では、滅菌器や薬剤分包機の販売が前年を上回り、売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は78億1百万円（前年同期比8.0%増）、13億88百万円の営業損失となりました。

(3) 財政状態に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,228億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億81百万円増加しました。流動資産は799億10百万円となり、39億76百万円増加しました。固定資産は429億83百万円となり、17億5百万円増加しました。うち有形固定資産は370億71百万円となり、17億89百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は227億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億76百万円増加しました。流動負債は169億83百万円となり、27億83百万円増加しました。固定負債は57億76百万円となり、3億93百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,001億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億5百万円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、2021年1月27日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,833	26,953
受取手形及び売掛金	21,440	19,912
リース投資資産	492	380
商品及び製品	924	3,143
仕掛品	5,366	6,875
原材料及び貯蔵品	143	239
短期貸付金	22,000	20,000
その他	1,734	2,406
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,934	79,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,125	11,273
機械装置及び運搬具(純額)	2,875	2,783
工具、器具及び備品(純額)	3,152	3,172
土地	15,917	15,965
リース資産(純額)	3	6
建設仮勘定	3,205	3,870
有形固定資産合計	35,281	37,071
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,061	1,893
繰延税金資産	1,659	1,823
その他	625	611
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,346	4,329
固定資産合計	41,277	42,983
資産合計	117,211	122,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,633	11,148
電子記録債務	447	646
リース債務	201	194
未払費用	1,326	908
未払法人税等	716	1,225
賞与引当金	429	1,474
役員賞与引当金	21	21
受注損失引当金	24	8
その他	1,398	1,355
流動負債合計	14,199	16,983
固定負債		
長期借入金	2,100	3,200
役員退職慰労引当金	204	200
退職給付に係る負債	2,768	2,163
繰延税金負債	22	26
その他	287	185
固定負債合計	5,383	5,776
負債合計	19,582	22,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,602	9,435
利益剰余金	85,148	86,392
自己株式	△2,522	△2,503
株主資本合計	97,197	98,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369	258
為替換算調整勘定	△17	529
退職給付に係る調整累計額	△2,000	△1,858
その他の包括利益累計額合計	△1,648	△1,071
非支配株主持分	2,079	2,911
純資産合計	97,629	100,134
負債純資産合計	117,211	122,893

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	54,394	60,118
売上原価	42,465	47,244
売上総利益	11,928	12,873
販売費及び一般管理費	8,171	9,127
営業利益	3,757	3,745
営業外収益		
受取利息及び配当金	65	60
助成金収入	150	134
為替差益	—	322
その他	45	14
営業外収益合計	260	532
営業外費用		
株式交付費	—	16
為替差損	125	—
その他	2	4
営業外費用合計	128	21
経常利益	3,890	4,256
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	24	4
特別損失		
固定資産除売却損	6	2
新型コロナウイルス感染症による損失	393	—
特別損失合計	400	2
税金等調整前四半期純利益	3,514	4,257
法人税、住民税及び事業税	1,123	1,883
法人税等調整額	△198	△176
法人税等合計	924	1,706
四半期純利益	2,589	2,551
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△254	△735
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,843	3,286



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	2,589	2,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	△111
為替換算調整勘定	△222	546
退職給付に係る調整額	334	142
その他の包括利益合計	33	577
四半期包括利益	2,623	3,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,877	3,863
非支配株主に係る四半期包括利益	△254	△735

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,933	18,236	47,170	7,223	54,394	—	54,394
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	372	451	824	219	1,043	△1,043	—
計	29,306	18,688	47,994	7,442	55,437	△1,043	54,394
セグメント利益 又は損失(△)	4,347	1,896	6,243	△411	5,832	△2,074	3,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,358	19,958	52,316	7,801	60,118	—	60,118
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	539	428	967	229	1,196	△1,196	—
計	32,897	20,386	53,284	8,030	61,314	△1,196	60,118
セグメント利益 又は損失(△)	4,077	2,581	6,658	△1,388	5,270	△1,524	3,745

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。